



遠隔の丘

由利本荘市立子吉小学校

学校だより

第 7 号

令和7年 6月 6日

第1回 学校運営協議会

6月6日(金)に、令和7年度1回目の学校運営協議会を開催しました。授業一巡後、今年度の学校経営の重点や「学習指導」「生徒指導」の目標について説明させていただきました。今年度の重点として、「子どもの意欲の向上と主体的な態度の育成」、「校訓（かしこく・ゆたかに・たくましく）の具現化」、「開かれた学校づくり」などを示しました。また、来年度の本荘東小学校への統合を見据え、「当たり前前のことが当たり前前にできる子ども」に、そして「大きな集団の中でも埋もれず自己表現できる子ども」に育てたいと説明しました。

その後、授業の感想を含め、委員の皆様からは、たくさんのご意見やご助言をいただきました。「各学年の担任の先生方の指導や工夫が素晴らしかった」「1～3年生は元気に楽しそうに学習している」「4～6年生は集中して学習している」「子吉っこの気概を忘れないように育てて欲しい」等、たくさんのご意見をいただきました。

今後、閉校に関わる諸行事ををはじめ、様々な面で学校運営に関わっていただきます。よろしくお願いいたします。

令和7年度 子吉小学校 学校運営協議会委員一覧

No.	役職	氏名	町内	備 考
1	会長 学校関係者評価委員	工 藤 ミネ子	薬師堂	元校長
2	副会長 学校関係者評価委員	武 田 公 明	公民館	子吉公民館長
3	副会長 学校関係者評価委員	佐々木 照 子	薬師堂	元校長
4	運営委員	川 嶋 博 英	藤 崎	子吉保育園園長
5	運営委員	中 村 尚 武	埋 田	民生児童委員協議会会長
6	運営委員	武 田 裕 子	埋 田	主任民生児童委員
7	運営委員	工 藤 隆 夫	藤 崎	子吉土地改良区理事長
8	PTA役員	工 藤 孝 輝	宮 内	PTA会長
9	PTA役員	高 橋 聖	薬師堂	PTA副会長
10	PTA役員	今 野明日香	藤 崎	PTA副会長
11	校長	中 西 郁 生	学 校	幹事
12	教頭	小 池 郁 子	学 校	幹事
13	教務主任	三 浦 基	学 校	地域連携



もう立派な小学生 ～幼保小連絡協議会～

6／3日(火)に、幼保小連絡協議会を開きました。1年生が卒園した各保育園、幼稚園、子ども園から、年長時の担任の先生が参観に来られました。

まず、1年生の国語の授業を参観していただきました。お世話になった先生方に参観していただくということで、みんな張りきって学習に取り組んでいました。

その後の協議会では、授業参観の感想や情報交換を行い、「2カ月で、こんなにも成長し、びっくりした。」「最後まで座って学習に取り組む姿に成長を感じた。」とお褒めの言葉をいただきました。



命を守るキーワード 「おはしも」 & 「指示を聞く」 ～地震想定避難訓練～

5月30日(金)に、由利本荘市消防本部から3人の消防署員をお招きし、地震を想定した今年度1回目の避難訓練を行いました。

今から、42年前に秋田県沖を震源とした「日本海中部地震」が発生し、津波で多くの命が失われました。その教訓を生かし、一人一人が自分の命を守り、被害を最小限に抑えるために、毎年県内で訓練が行われています。

「自分の命は自分で守る」ために、「おはしも」をしっかり守ること、避難指示や放送をしっかり「聞く」ことがめあてでしたが、全校児童、静かにグラウンドに避難することができました。真剣に訓練に参加する子吉っ子の姿を見て、消防署の方からはお褒めの言葉をいただきました。

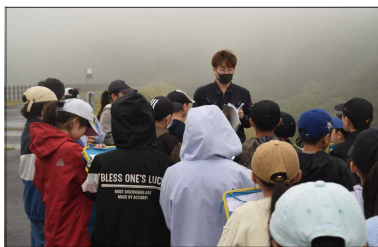
大きな地震は約10年ごとに起きています。日本に住んでいる限り、避けられないのも事実です。学校での訓練の他に、地震が起きたときに「どこに避難するのか」「どのように連絡を取り合うのか」など、ご家庭でもぜひご確認ください。



「子吉の水源を巡って」 4年ふるさと環境学習

6月4日(水)に、4年生が「ふるさと環境教室」を行いました。学校運営協議員でもある子吉地域コーディネーターの工藤隆夫さんの企画で、本荘子吉環境保全活動組織「水土里ネット子吉」の皆さんに、子吉地域の環境について教えていただきました。あいにくの雨模様でしたが、風力発電施設や貯水池、穴堰などを巡り、『子吉地域の水源や環境』について学習しました。途中、由利原高原でおいしいお弁当もいただきました。

子吉について学ぶ有意義な時間となりました。「水土里ネット子吉」の皆さん、ありがとうございました。



「登校方法に関する意向調査」の結果

5/20～23に実施した「子どもたちの登校方法に関する意向調査」の結果がまとまりましたのでお知らせします。PTA会員118人中104人(回答率88%)の方から回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

右のグラフで示されているように、半数が「集団登校」を望まれていることが分かります。一方、「自由登校」を望まれているご家庭も19%いることも事実です。

この調査はあくまでも意向調査であり、これをもって、学校が、多数の「集団登校」を継続すると結論付けるわけではありません。自由登校を希望されるご家庭もありますので、校外指導部での協議をもとに、今後は、各ご家庭で「集団登校を継続する」か「登校班から抜けて自由登校をするのか」選択していただき、各町内の子ども会で確認していただく予定です。

